

2022年
4-9月期

県内景況・確報

◎概況 県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで、緩やかに持ち直している。

●2022年4-9月期 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや悪い

個人消費



ふつう

建設関連



ふつう

観光関連



やや悪い

企業倒産



やや良い

雇用状況



ふつう

2022年4-9月期の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を上回りました。百貨店売上高は前年同期を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同期を上回り、中古車販売台数は、前年同期を下回りました。

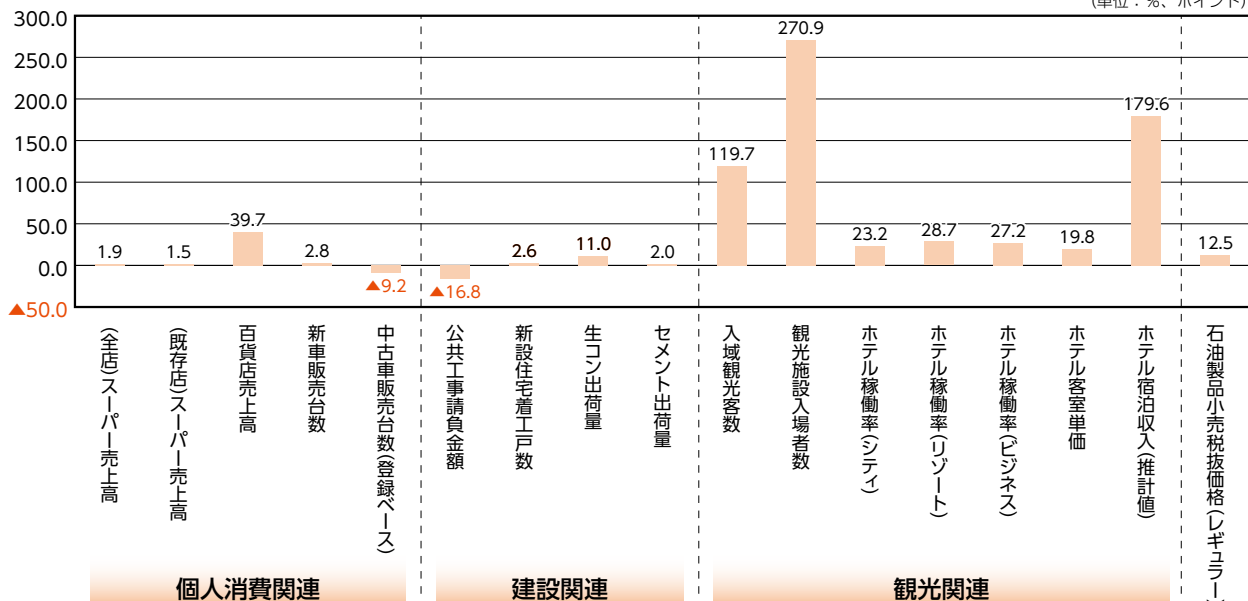
建設関連では、公共工事請負金額は前年同期を下回りました。新設住宅着工戸数は前年同期を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同期を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は、前年同期を上回りました。観光施設入場者数は、前年同期を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて前年同期を上回りました。ホテル客室単価、宿泊収入（推計値）は前年同期を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は前年の緊急事態宣言の反動などにより持ち直しています。観光関連は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで緩やかに持ち直しており、建設関連は、民間工事に回復の動きがみられるものの、弱い動きが続いています。よって、「**県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで、緩やかに持ち直している**」と景気判断をしました。

主要景気指標前年同月比

(単位：％、ポイント)





個人消費



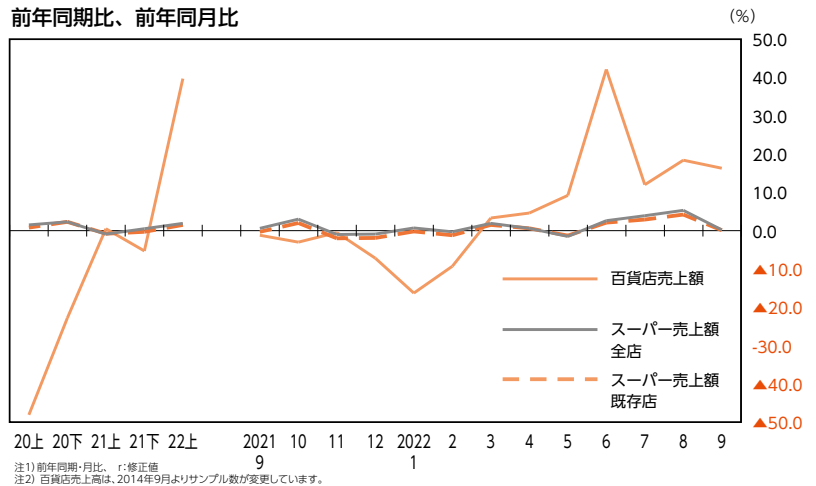
(ふつう)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を上回る。百貨店売上高は前年同期を上回る。

2022年4-9月期の個人消費関連は、スーパー売上高「全店ベース（前年同期比1.9%増）」は、前年同期を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同0.9%増）」は、新規出店効果や、前年の緊急事態宣言の反動による来客数増化などにより、前年同期を上回りました。「衣料品（同13.4%増）」や、家電を含む「家庭用品（同5.8%増）」は、緊急事態宣言による一部休業や時短営業の反動などにより、前年同期を上回りました。

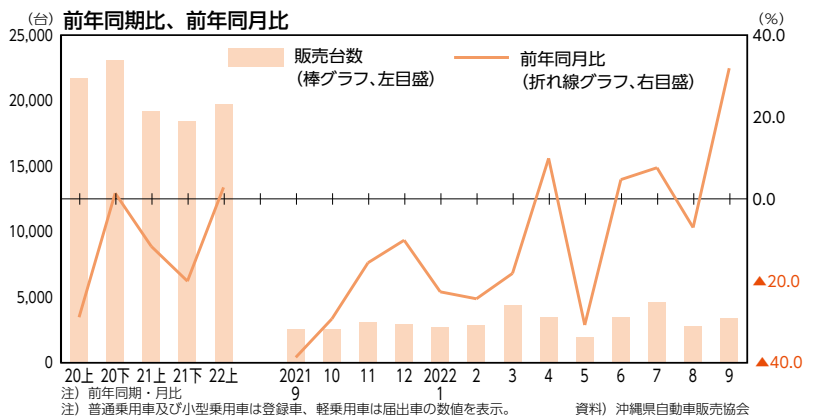
「**既存店ベース（同1.5%増）**」は、前年同期を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同0.5%増）」は、前年の緊急事態宣言の反動に伴う来客数の増加などにより、前年同期を上回りました。「衣料品（同14.4%増）」、「家庭用品（同2.9%増）」は、緊急事態宣言下における一部休業や時短営業の反動により来客数が増加したことなどから前年同期を下回りました。

百貨店売上高は、前年の緊急事態宣言に伴う土日祝日の一部休業や来客数減少の反動などにより前年同期を上回りました（同39.7%増）。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品（同41.9%増）」は、来客数の増加や外出意欲の高まりなどにより売上が伸長し前年同期を上回りました。「食料品（同36.1%増）」は、前年の反動による来客数増加に加え、催事企画の好調などにより前年同期を上回りました。「雑貨（同33.2%増）」、「身の回り品（同52.9%増）」も同様に前年の反動による来客数の増加などにより前年同期を上回りました。



② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同期を上回る。

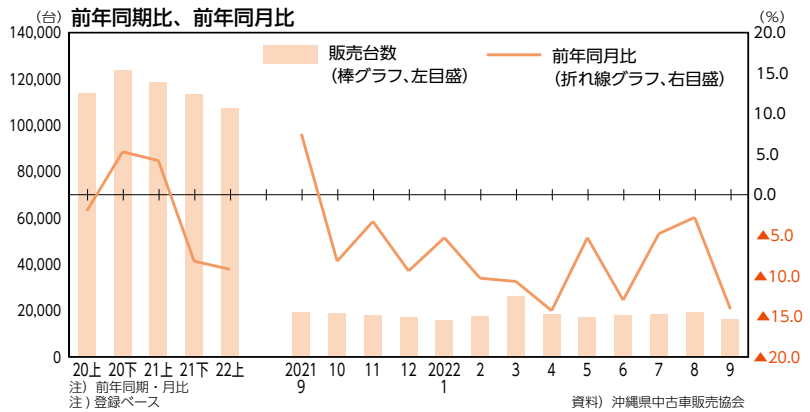
新車販売台数は、全体で19,702台（同2.8%増）となり、前年同期を上回りました。車種別では、「普通乗用車（同13.3%増）」、「小型乗用車（同33.9%増）」は、観光シーズンにおけるレンタカー需要の回復などにより、前年同期を上回りました。「軽乗用車（同16.7%減）」は半導体不足による供給制限が継続していたことなどにより、前年同期を下回りました。



※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

③ 中古車販売台数…中古車販売台数は、前年同期を下回る。

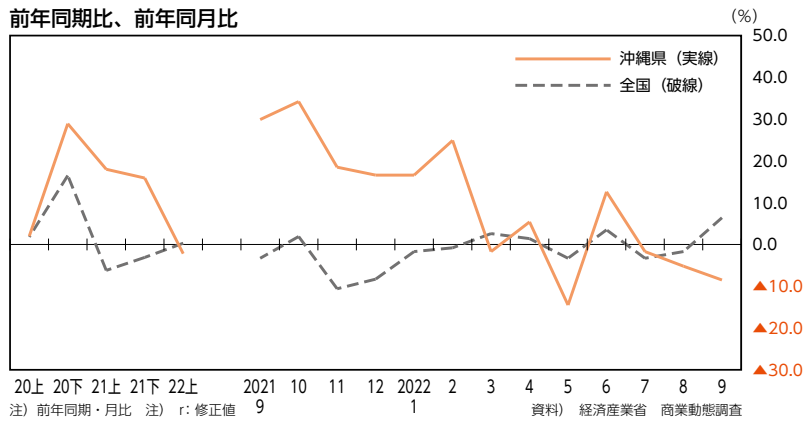
中古車販売台数（登録ベース）は、全体で107,459台（同9.2%減）となり、前年同期を下回りました。車種別では、「乗用車（同12.0%減）」、「軽自動車（同7.4%減）」共に半導体不足に起因した市場の供給減少に伴う価格高騰などにより、前年同期を下回りました。



④ 【参考】大型家電専門店販売額…大型家電専門店販売額は、前年同期を下回る。

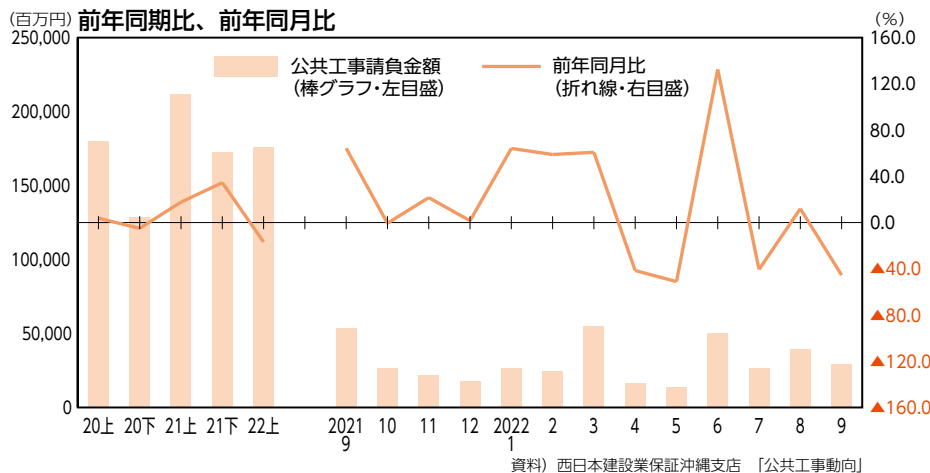
大型家電専門店販売額は前年同期を下回りました。
下回った要因として、昨年に比べての客足の鈍さなどが挙げられています。

※コメントについては商業動態調査を基に小売店へ弊社が独自にヒアリングを行ったものになります。



建設関連 (ふつう)

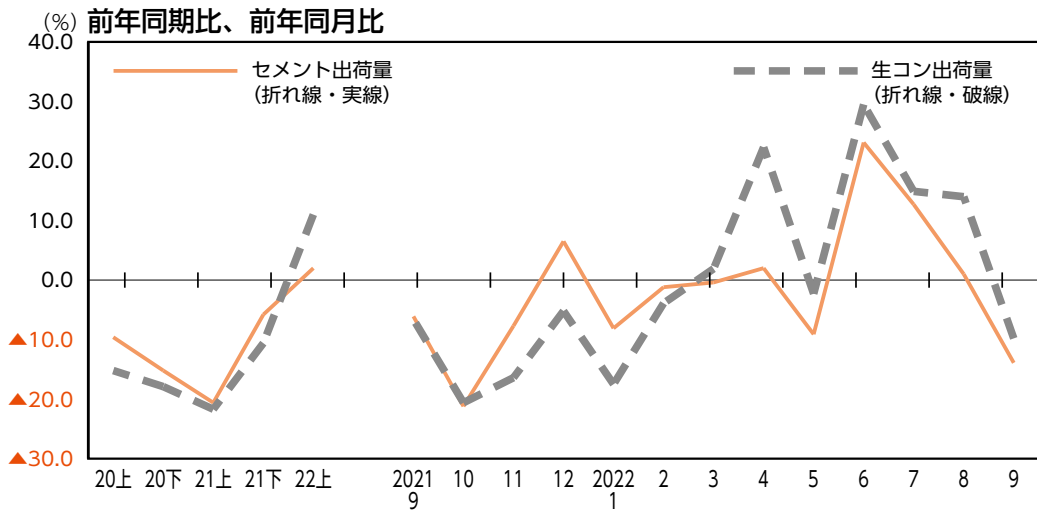
① 公共工事…公共工事請負金額は前年同期を下回る。



2022年4-9月期の公共工事請負金額は、前年同期比16.8%減の1,761億4,000万円となりました。発注者別でみると、「市町村(同34.6%減)」や「国(同21.8%減)」や「沖縄県(同15.6%減)」は前年同期を下回りました。一方、「独立行政法人等(同130.0%増)」や「その他の公共的団体(同29.0%増)」は前年同期を上回りました。

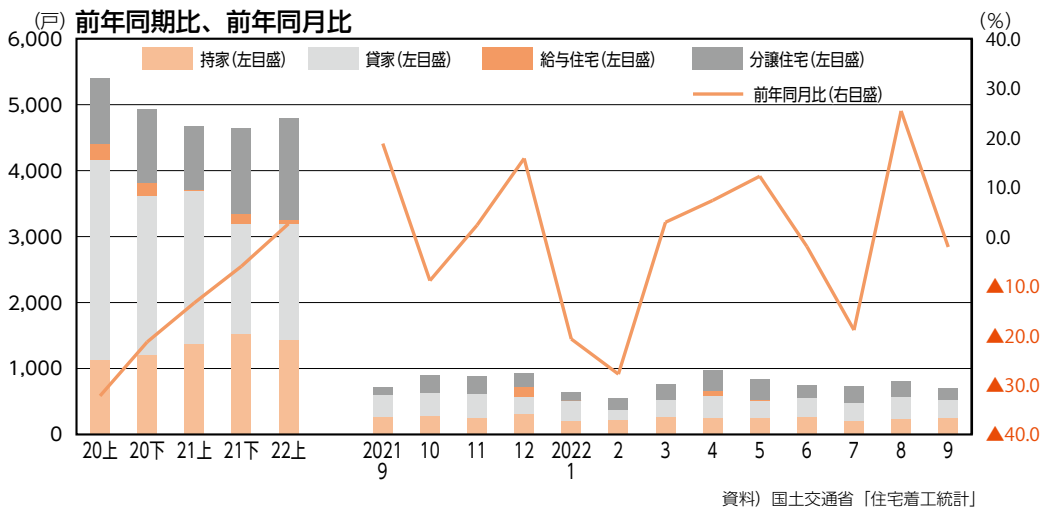


② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同期を上回る。



建設資材関連では、**生コン**の出荷量は11.0%増と前年同期を上回りました。内訳では、公共工事向けは前年同期より22.3%上回り、民間工事向けは5.7%上回りました。**セメント**出荷量は2.0%増と前年同期を上回りました。

③ 新設住宅着工戸数…着工戸数は前年同期を上回る。



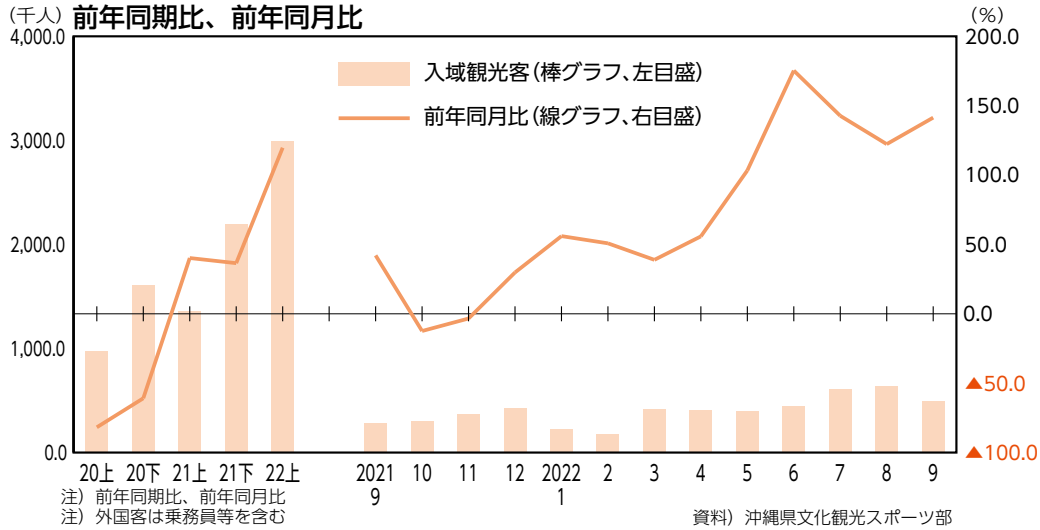
新設住宅着工戸数は、全体で4,800戸となり2.6%増と前年同期を上回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅 (同59.9%増)」や「持家 (同5.0%増)」や「給与住宅 (同126.7%増)」は前年同期を上回りました。一方、「貸家 (同24.4%減)」は前年同期を下回りました。

観光関連

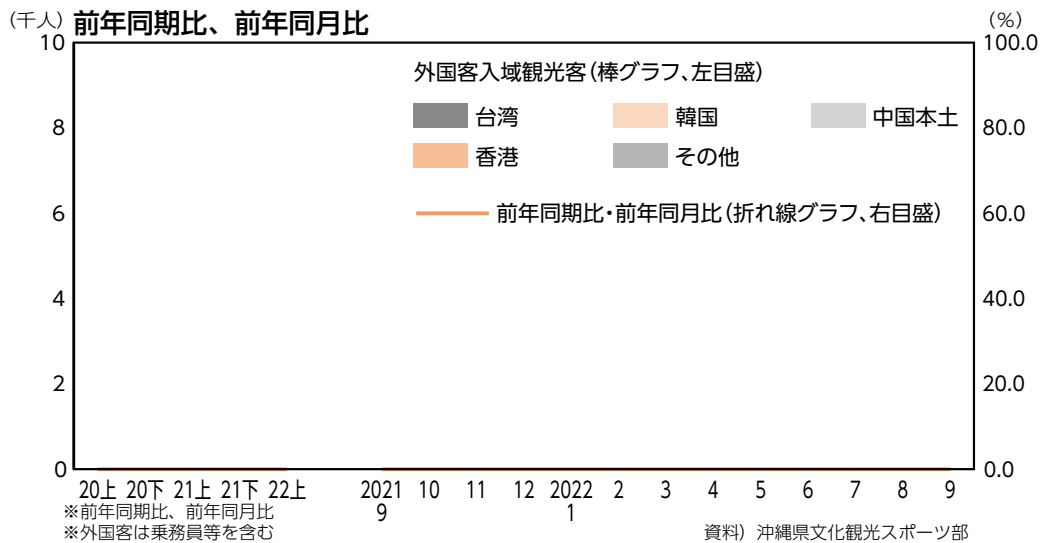


(やや悪い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同期を上回る。



外国客 入域観光客数…100人の入域となる。



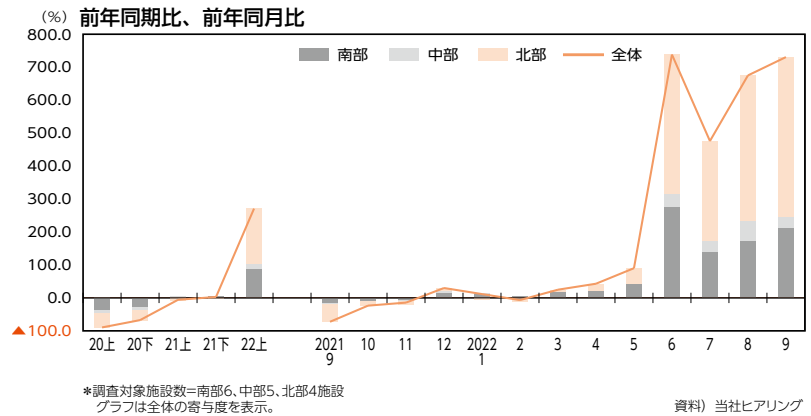
2022年4-9月期の入域観光客数は299万7,600人となり、前年同期を上回りました。前年同期においては緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用されたのに対し、コロナウイルスの感染抑制により行動制限がない状況であったことなどから、前年同期を上回りました。

外国客においては8月に韓国の一部路線が再開し、2年5ヵ月ぶりの入域となりました。



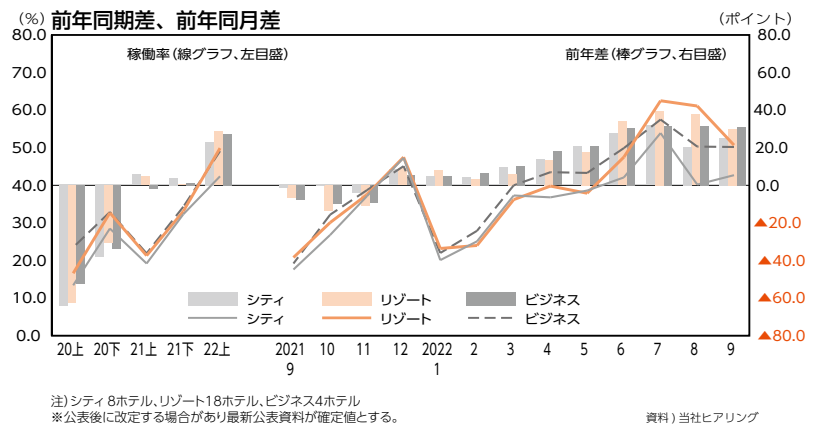
② 観光施設入場者数…前年同期を上回る。

観光施設入場者数は、全体で前年同期より270.9%増加しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同85.6%増、中部は同17.1%増、北部は同168.2%増となりました。



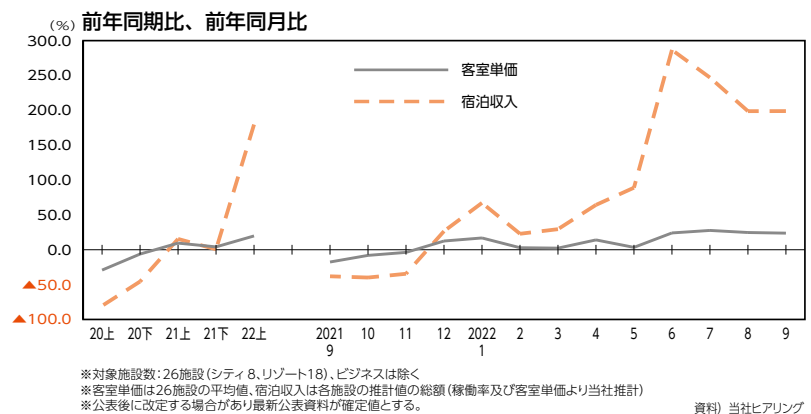
③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同期を上回る。

2022年4-9月期の県内ホテル稼働率は、シティホテルが42.4%と前年同期差23.2ポイント上昇、リゾートホテルが49.9%と同28.7ポイント上昇、ビジネスホテルは49.1%と同27.2ポイント上昇しました。



④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価、宿泊収入ともに前年同期を上回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同期比19.8%増と前年同期を上回りました。**宿泊収入**も同179.6%増と前年同期を上回りました。





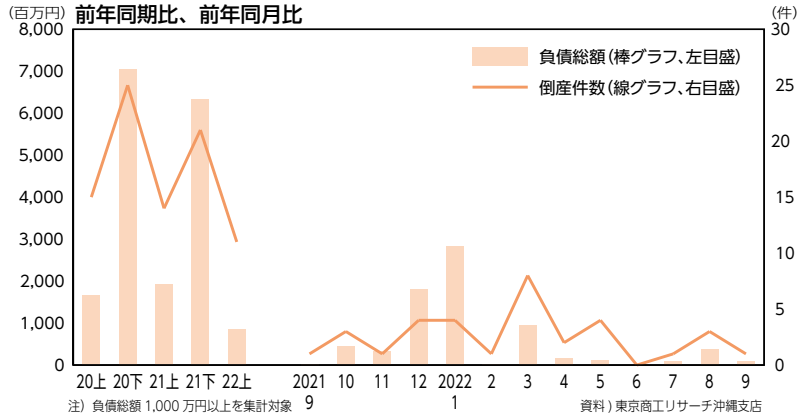
企業倒産



(やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同期を下回る。

2022年4-9月期の企業倒産件数は、11件（うち負債総額1億円以上10億円未満の大口倒産は3件）となり、前年同期より21.4%下回りました。**負債総額**は8億4,800万円となり、前年同期より55.7%下回りました。



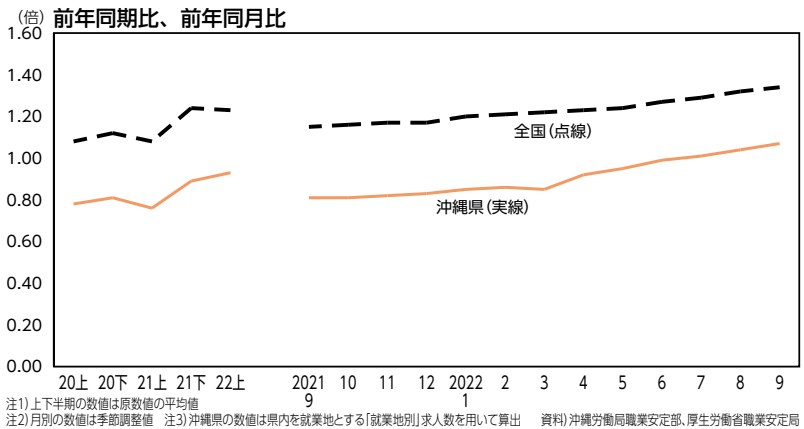
雇用関連



(ぶつう)

① 有効求人倍率…沖縄、全国ともに上昇。

2022年4-9月期の雇用状況は、有効求人数（原数値平均）は前年同期比28.2%増の29,726人に対して、有効求職者数（同上）は前年同期比4.8%増の31,968人となり、**有効求人倍率（同上）**は0.93倍と、前年同期より0.17ポイント上昇しました。



② 完全失業率…沖縄、全国ともに前年同期より低下。

完全失業率（原数値平均）は、3.1%となり前年同期より0.7ポイント低下しました。

